



1. 新JIS (JIS A4201:2003) を採用している場合
- ①笠木の下部に着火する可燃物がない場合、笠木肉厚は1mm以上とする。
- (注) 「着火する可燃物」とは、次のもの以外の材料をいう。
- a・建築基準法第2条第九号で定める不燃材料又はこれと同等以上のもの。
 - b・建築基準法施行令第1条第五号で定める準不燃材料又はこれと同等以上のもの。
 - c・建築基準法施行令第1条第六号で定める難燃材料又はこれと同等以上のもの。
- ((社)電気設備学会『建築物等の雷保護Q&A』による)
- ②断面積は70mm²以上あること。
- ③笠木の締結に際し、通常の表面処理仕様製品では、
- イ) 「塗膜を剥がして通電性グリースを塗った上で締結する」ことは不要である。
 - ロ) 接着加工したコーナー部材はそのまま使用できる。

施工上の注意

- ①金具の接続は必ず指定のボルト、ナットで固定して下さい。
- ②引下げ導線と笠木の接続は、必ず電設業者等専門施工者の施工をお願いします。